日本共産党の地域新聞　発行所：日本共産党夕張市委員会　夕張市千代田２番地の２　TEL &FAX　52-3097　　2012年１２月16日（日）1442号

民報 ゆうばり

原発は今すぐゼロに！

日本は原発がなくても、十分に余力！！

…原発知識の整理に
お役立てください！

日本の原発クイズ

Q1:3.11原発事故のとき、海外メディアは3月12日にメルトダウンの可能性を報じましたが、政府が国民に知らせたのはその日から何日目？

A1：正解は、88日後。政府が国際原子力機関（IAEA）に提出する報告書のなかで、初めて「メルトスルー」（原子炉貫通）と呼ばれ、「メルトダウン」（炉心溶融）を上回る最悪の事象を認めた。昨年、6月7日（3.12から88日後）のことだった。

Q2:原発事故で放出されたセシウムは、広島原爆の何倍？

A2：正解は、400倍以上。セシウムは半減期が長く、大量に放出されたものが土壌の中に浸み込んだり、雨による河川へ流入したり、問題を深刻化している。セシウム137は168倍、セシウム134は300倍で、合わせると400倍を超える。

Q3:NHKの放送で、東京湾が高濃度のセシウムで汚染されると予測しました。ピークになるのはいつ？

A3：正解は、およそ1年後。NHKで今年1月に、放送された「知られざる放射能汚染」は、首都圏や関東平野に降下したセシウムは、最終的に東京湾に流れ込み、2年2ヶ月後「凝集」するという警告でした。ですから、あと1年と少しです。

Q4:セシウムが日本の広範囲にわたって汚染した可能性があります。国内で、5ベクレル/kg以下の地域はどこでしょう？

A4：正解は、九州の鹿児島など。ノルウェーの気象モデルを使いながら、実測値で補正したものでは九州などは5ベクレル/kg以下です。大量の放射性物質が沈みました。「日本にはもう、安全な食べ物はないという状態に追い込まれているのです」（小出裕章氏）

Q5:今年4月1日から、食品中の放射性物質の基準値は「新基準値」になりました。乳児用食品の基準は？

A5：正解は、50ベクレル/kg以前は乳児用食品の区別はなく、一般食品は500ベクレル/kgでしたが、事故から1年経って4月から乳児用食品ようやく設けられ、50ベクレル/kgとなりました。

Q6:福島第一原発の4号機のプールが、地震などで倒壊したら日本は壊滅的打撃を受けますが、問題の燃料棒を取り出せるのはいつ？

A6：正解は、5年後。燃料棒の総数は、合計14,22本があります（東電）。「4号機の放射能が飛散すれば、その範囲は首都圏まで及び、4000万人以上の人が避難しなければならない。人類史上、最悪の事態になる」（今回事故の原発型式“マークⅠ”の世界的な研究者、アーニー・ガンダーセン氏。3.11直後CNN放送で「レベル5ではなく、レベル7であり、すでにメルトダウンが起きている」と指摘していた）。

＊日本共産党夕張市委員会　e－メール　jcp.yubari@gmail.com　　HP　http://pub.ne.jp/jcpyubari/　　もぜひご覧ください

Q7：ドイツのようにピーク時の電力不足を補う『代替エネルギー』を用意するのに、日本はあと何年必要？

A7：正解は、必要なし。ドイツはピーク時で7%の電力をまかなう原発を、再生可能エネルギーに10年以内に代替することが決まっています。
…日本は原発がなくても十分に余力を持っています。

Q8：製造企業の自家発電の電力（kw）は、すべての原発の発電電力と比較して、どの程度？

A8：正解は、原発と同じ以上。自家発電は2005年から2012年の増加率は43%、5582万kwととなり、原発の4353万kwの128%となっています。

Q9：原発の廃止を決めると多額の原発資産の償却が必要となります。どの程度の額？

A9：正解は、5兆円程度。原発が再稼働しないと原子力発電所の建設費用はストランディッド・コストとなる。原発と燃料で5兆円以上、さらに廃炉工程のコストも必要。9社全体の純資産7兆円が吹っ飛ぶ。いわゆる「原発不良債権問題」だ。

Q10：電力の自由化が進めば、新規参入が進みます。ドイツは、電力会社はいくつある？

A10：正解は、1000社以上。ドイツは2009年にはすでに1000社以上の電力会社が生まれました。再生可能エネルギーがその主役です。

Q11：日本の電力需要は夏がピーク。この10年間で需要傾向の変化は、増えている？

A11：正解は、低下している。実は、ピーク時の電力（W）は、長期的低下傾向を示しているのです。これは、需要サイドの構造変化があるのです。各産業のエネルギー効率の改善、家庭の家電効率の改善が進んでいるのです。

Q12：再生可能エネルギーの推進には『固定買取制度』が必要です。いつから始まる？

A12：正解は、すでに始まっている。太陽、風力、バイオマス、水力などの発電施設の電力を定額で買取る制度です。現在は太陽光（10kw 以上）ですと、42円/kwhで20年間固定されます。

国連NGO新婦人夕張支部大会開かれる！

12月9日、新婦人夕張支部は、第44回大会を開きました。

冒頭、久世支部長は「今年創立50周年を迎えた新婦人は、夕張でも記念のつどいを成功させた。これまでのあゆみを振返ると、要求の発信の大切さと運動の確かさが実感できた。これからも安心して暮らせる街づくりに頑張りたい」と挨拶しました。

来賓の夕張労連議長の筒井氏は、「夕張再生の運動では国や道の責任を追求してきた。また今回の選挙では60年続いた自民党型政治を終わらせよう」と挨拶しました。

次に、くまがい桂子市議は、「高齢者向け住宅や妊産婦検診無料化、学童保育の実現などは、要求を何度も訴えた成果である」また、診療所問題や議会改革、脱原発の意見書の事など、夕張の情勢が詳しく話されました。

夕張市長らのメッセージ紹介後、一年間の運動の成果が議案提案され、昼食後は討議、役員選出がなされ、大会を終了しました。

第54回「第九を聴く会」

悪天候の中**開催！**

～レコード愛好会～

12月8日、夕張レコード愛好会主催のベートーヴェン作曲「第九交響曲」（合唱付）を聴く会が悪天候の中開催されました。

会場は清水沢研修センター大会議室で、大画面スクリーンに映し出された映像と音響効果を最大限生かした演奏に、参加者は「第九」を堪能していました。